



↑ ↑ ↑
こちらのコードから色鮮やかなカラー版をご覧ください。



水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 住所 富士見市水谷1-13-6
TEL 049(251)1129・FAX049(255)9886・✉ fkm-mi@coral.ocn.ne.jp



はばたけ 新社会人!
今月号は、4月から期待と不安の間に立って、新社会人として新たな人生をスタートさせる方々にエールを贈るべく、すでに、水谷地域で社会人として数年にわたりご活躍されている3人の諸先輩方にご協力をいただき、仕事に対する思いや取組み方、今後の抱負などについてお話を聞きました。皆様の人生の指標の一助となれば幸いです。
編集委員 萩元 喜久雄

「地元で夢の調理師に」

みずほ台駅東口を背にしてメインストリートにあるPALCAFEの調理師さんにお話を伺いました。

富士見市内の小中学校卒業後、高校生活を送る中、調理師のドラマを観たのがきっかけで調理師の道へ進んだそうです。調理師というと厨房の中で黙々と働いているイメージですが、PALCAFEの厨房からはお客様がまる見え、逆にお客様からも厨房の様子がよく見え、安心してくつろげる居場所です。調理していない時は全ての年齢層のお客様との会話も楽しんでいるとの事。

PALCAFE 調理師 菅原 歩香さん

また管理栄養士の方との新メニューの試作も楽しいとおっしゃっていました。

新社会人になった方は、悩み事があつたら、ため込まず相談できる相手を探してリフレッシュする事が大切だそうです。

笑顔の素敵な菅原さん、これからも美味しい料理で地域の人を楽しませてください。

(インタビュー 編集委員 佐々木真理子)



「貴重な経験を大切に…」

10歳のとき近所で火事があって、その懸命な消火活動に感動しました。その時、消防士になりたいと強く思いました。なぜかその思いは変わりませんでしたね。そんな私は、今年で社会人になって2年目です。学生時代は陸上競技に明け暮れてましたが、けっこう頑張っていましたよ。この仕事のためには役立ったかな…(笑)

富士見分署に異動してきたのは昨年10月ですが、現在消防車輛や救急車輛の点検整備、火災現場や救

人間東部地区組合 東消防署富士見分署 消防士 飯田 幸弘さん

急現場、交通事故の現場にも出動します。消防署の仕事は、消火隊、救急隊、救助隊の三本柱ですが、目標はこの全てを習得することです。まだまだ訓練中…これからは本番です!

社会に出ると環境や生活に大きな変化がありますね。一年目は、その時にしかできない学びがたくさんありますから、その体験は貴重だと思っています!

(インタビュー 編集委員 柴田妙子)



「楽しいから面白いへ…」

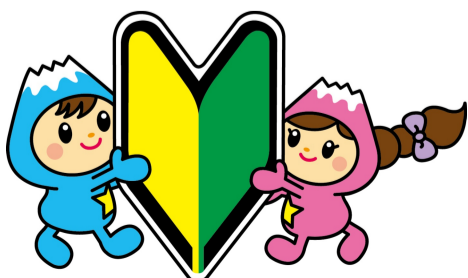
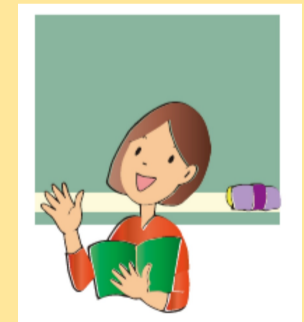
新社会人のみなさん、学生の頃は楽しかったですよね。友達と、とことん遊びつくしたり、自分だけの時間を過ごしたりと、楽しいことばかりですよね。そんな機会は社会人になると減り、「楽しい」と感じることも減っていくことでしょう。

しかしその代わりに「面白い」と感じるようになります。それは、私だと例えば、「子どもたちと話しながら新しいことを生み出すとき」や「子どもたちに楽しいと感じてもらえたとき」で

針ヶ谷小学校 S・Y先生

す。そう感じるようになるようになってからは、仕事にやりがいを感じるようになりました。

社会人は、確かに大変です。しかし、その中に必ず自分が「面白い」と思える瞬間があるはず。そして「面白い」を見つけることができれば、それを大切にしてください。きっと、その「面白い」があなたを助けてくれるはず。もし、どこかでお会いできたらあなたの「面白い」を教えてください。よい社会人生活を!



水谷公民館だより担当職員の私も、もうすぐ入社2年目が終わろうとしています。右も左も分からないところから、たくさんの方々にお世話になり、少しずつですが出来ることも増えてきました。3年目も精一杯取り組みますので、新社会人の皆様も一緒に頑張りましょう!

水谷公民館職員S・R